

第5回全日本ID柔道大会 実施報告書

2024年9月14日(土)・15日(日)

交流練習会・クラス分け



交流練習会・クラス分けが行われました。交流練習会は、大会運営に関わる健常者の大学生や

大会に出場しない方も参加され、柔道の練習だけではなくゲームを取り入れるなど、楽しみながら選手同士の交流やルールの確認を行いました。その様子を見てクラス分け委員によりクラス分けが行われました。交流練習では組み合わせ際に、選手は必ず健常者の大学生や指導者と組むよう安全に配慮しながら活動を行いました。

交流練習後には、審判会議でID柔道のルールを再確認。さらに監督会議ではルールの確認や抑え込み時の手の位置など、実技を交えながら特に配慮すべき点の情報共有を行いました。



サポーター賞を実施！

当連盟では、本大会に5回出場した選手の関係者に対し、サポーター賞を授与しました。本表彰は、ID選手が柔道をするためにサポートいただくことへの感謝を表し、今年度より初めて実施されました。



【今年度5回出場の選手一覧】

稲葉乃知選手、小泉裕選手、小林陸選手、
近藤優樹選手、高江洲ケンゾウ選手、
高部勇翔選手、竹上公明子選手、
福田歩美也選手

以上8名

大会の様子

風船などの装飾に彩られた大会会場に、前日とは違って緊張した表情で選手たちが入場してきました。全国20都道府県から過去最多69名が参加されました。障がいレベルと体重が同じになるよう、前日の交流練習会により24クラスに分けられ試合を実施しました。昨年度より、試合をしている選手の関係者が最前列で試合を見られるよう「応援席シート」を設けました。また、通常の大会では「コーチ席」には指導者資格を持っている指導者しか座ることが出来ませんが、この大会では知っている人が近くにいることで選手が安心して試合ができるよう「引率者席」として指導者資格の有無にかかわらず座れるようにしています。

「柔道を楽しむ」というコンセプトの元、今年も大きな怪我等がなく大会を終了することができました。大会開催にあたり、ご尽力いただきました。関係者の皆さまにおかれましては、心より感謝申し上げます。今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



【後援】

公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会、
一般社団法人全日本知的障がい者スポーツ協会、
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
公益財団法人清心内海塾

【大会協賛】

ダイコロ株式会社、日本文化大學、株式会社内田組、
大塚製薬株式会社